

# 青文歩の達人

2

折り込み  
散券マップ  
付き!

ざわざわ  
ガヤガヤ  
にぎやが

# 板橋

ロマンティック★ザ★

大山・常盤台・赤塚・成増

ハッピーすぎる大山2大商店街  
旧中山道縁結び♡すごろく  
うっとり優雅な湯空間  
駄菓子屋ゲームに没頭  
「ただいま」つて言いたくなる酒場  
名喫茶に名物メニューあり  
風情も一緒にいただきます食堂  
ひとめぼれパンの店

駅ふらりんご  
しっとり艶な街の残り香

白山 [地下鉄三田線]

さんぼ旅  
あったか雪国風情な  
群馬県川場村へ



誰もが知ってるあの箱も  
ここの発明品です

## 松田技術研究所



コンピューターは使わずに、精密な設計図を描く松田社長。



社長のアイデアから生み出された郵便配達用のキャリアボックス。



会社の1階では、新製品を開発中。振動を吸収する台座の部分だそう。

実はUFOを作った  
こともあるんですよ



松田真次さん

1945年生まれ。昭和鉄道高等学校卒業後、自動車整備士を経て本田技研に入社。37歳で松田技術研究所を設立。☎03・3965・3821 一折り返し込み全体マップC-5

## 閑

静な住宅地に社屋を構える松田技術研究所からは、郵便集配のキャリアボックスから宇宙空間で使用できる特殊なサスペンションまで、様々な発明品が生み出されている。「始まりはいつも電話一本なの。まつちゃん、こういうの作ってよ。おう、まかしとけ、つてね」

なんとも豪快な性格である。

本田技研から独立した松田社長は、バイクのパーツ開発の技術を生かし、自らスケッチブックにイメージを描き、製図台で設計図を引いては試行錯誤を繰り返す。画期的な技術を次々と生み出すも、注文には波があり、何度もどん底も経験したという。「でも、人生必ずどうにかなるもんだよ」と、あくまでも前向きな社長。次は何を生み出すのだろうか。

塗るだけでオツケーな  
常識破りの断熱材

## 日進産業



JAXAのロケット先端部に塗られる塗料の技術に応用して、性能がアップしたそう。



断熱効果のキモとなるセラミックビーズ。これを独自の配合でブレンドする。



右がガイナを塗った板。熱を加えると水の溜け方に差が出る。

画期的すぎて、むしろ  
怪しまれたりします

## 発

泡スチロールでもない、繊維でもない「ガイナ」という塗料の断熱材を開発したのがこちら。

「社長の石子達次郎が、工場が暑いのでなんとかしてほしい、と依頼されたのが始まりなんです」と、営業部の後藤秀一さんが開発秘話を教えてくれた。工場には断熱材を入れる隙間がない。社長は、白と黒の紙を触ったときに温度が違ったことを思い出し、工場を白く塗ることを提案。すると工場内の温度が下がったという。その後、色んな物質を塗料に配合して実験を重ね、断熱材を完成させた。その歳月、なんと25年！

その省エネ効果が注目を集め、枝野元経済産業大臣も視察に来たそう。板元発の技術がエネルギー問題の救世主になる日も近い？



後藤秀一さん

1962年生まれ。IT系専門学校卒業後、遊技機開発会社を経て日進産業に入社。営業部でメーカーを相手に駆け回る。☎03・5916・4451 一折り返し込み全体マップB-4